

平成30年度 地方創生推進交付金事業の実施状況について

交付金の種類	事業名	事業期間	事業概要	平成30年度取組内容	平成30年度総事業費(円)	平成30年度交付金額(円)	事業の進捗状況(交付金事業完了後の取組状況を含む) (平成31年3月末現在)		本事業の重要業績評価指標(KPI)					実績値を踏まえた今後の方針	
							内部評価	内容	指標	目標値 (事業終了時) (平成31年3月末)	目標値 (数年後) (令和2年3月末)	実績値 (平成31年3月末)	事業効果	方針	方針の内容
平成30年度第1回	就労困難者も協働共生できるまち「ユニバーサル・タウン陸前高田」創造事業	平成29年度～令和元年度	本市が進める「ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり」を背景に、地方版総合戦略においても掲げている、高齢者・障がい者・女性等の就労支援への取組を推進することにより、誰もが当たり前働き暮らせる持続可能な協働共生のまちの実現を目指す。 具体的には、雇用創出・就労支援を図る「ユニバーサル就労」モデルの構築、全国の企業等から障がい者雇用マネジメントを請け負う「ダイバーシティ集積」モデルの構築などに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ユニバーサル就労支援センター」の設立・運営 ・企画会社設立に向けた検討及び事業開発 ・事業推進組織「事業協働プラットフォーム」の運営 ・事業基本計画の策定及び広報PR 	39,949,200	19,974,600	B. 概ね計画どおり進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・「ユニバーサル就労支援センター」の事業説明会及び課題抽出ワークショップ、事例視察等を実施し、事業計画を策定 ・「発酵の里(仮称)」の事業化に向け、事業基本計画の立案及び実証実験を実施 ・運営委員会及びプロジェクト部会を開催し、事業を推進 ・「ユニバーサル就労支援センター」及び「発酵の里(仮称)」の事業計画を策定の上、各種イベントで広報PRを実施 	① 当事業を通じた障がい者や生活困窮者等の就労困難者の新規雇用者の数	120人	300人	139人	③ 地方創生に効果があった	① 事業の継続(計画どおり事業を継続する)	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサル就労支援センターの就労支援に基づく雇用の促進を図るとともに、障がい者雇用マネジメント業務の請負を広げる
									② 当事業を通じて障がい者や生活困窮者等の就労困難者の新規雇用をを図る企業の数	5社	10社	7社			
									③ 当事業に関連して新たな新規事業を始める創業数	3社	10社	3社			
									④ 当事業を通じた障がい者や生活困窮者等の就労困難者の平均所得(月収)金額	30,000円	50,000円	25,000円			
平成30年度第1回	ピーカンナッツの生産・流通基盤構築による地方創生プロジェクト	平成30年度～令和2年度	北米原産の高栄養価・高収益作物であるピーカンナッツの国内初となる生産・流通基盤を構築することで、農業の6次産業化を通じた災害からの創造的復興と地方創生のモデルを提示する。 具体的には、国産ピーカンナッツの商業生産の基盤づくりと輸入ピーカンナッツによる市場形成と流通基盤づくりに取り組むもの。	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入ピーカンナッツによる市場形成と流通基盤づくり 	30,322,825	15,161,412	B. 概ね計画どおり進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ピーカンナッツを軸とした市街地集客エリア構想に係る基本計画を策定 ・ピーカンナッツの認知度向上と市場の形成のためのコンテンツ開発及びプロモーションを実施 	① 市内事業者のピーカンナッツ関連商品の年間売上高	20,000千円	200,000千円	5,000千円	③ 地方創生に効果があった	① 事業の継続(計画どおり事業を継続する)	<ul style="list-style-type: none"> ・ピーカンナッツの市場形成及び流通基盤づくりに引き続き取り組むとともに、生産基盤の構築に向けた取組を実施する
									② ピーカンナッツの生産・流通分野での新規雇用者数	3人	16人	0人			
									③ 地域の平均所得に対するピーカンナッツ関連産業における新規雇用者の年間平均所得指数	1.16	1.25	0			
									④ ピーカン育苗ハウスからつくられる優良な定植苗の生産量	640本	2,700本	0本			

【内部評価 凡例】
A. 順調に計画どおり進んでいる
B. 概ね計画どおり進んでいる
C. 計画より遅れている

【事業効果 凡例】
① 地方創生に非常に効果的であった
② 地方創生に相当程度効果があった
③ 地方創生に効果があった
④ 地方創生に効果はなかった

【方針 凡例】
① 事業の継続(計画どおり事業を継続する)
② 事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加など更に発展させる)
③ 事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直しを行う(行った))
④ 事業の中止(継続的な事業実施を予定していたが中止する(した))